科目区分	専門基礎分野			科目番号	0304	曜日時間	月曜日
授業科目	解剖生理学Ⅳ						
単位数	１　単位	時間	３０　時間	開講時期	1年次後期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	「恒常性維持の調節」「衣類を整える」「子どもを産み育む」の人体の正常な形態と構造、およびそれぞれの役割とはたらきについて学ぶ。						
授業目標	１．人間の身体を守っている皮膚の構造とはたらきについて学び、日常生活行動の「恒常性維持の調節」、身体のメカニズムと日常生活における役割について理解する。 ２．侵入してきた外敵に対する生体防御機構のしくみを学び、メカニズムと日常生活における役割について理解する。 ３．「衣類を整える」生活行動に関して、生体内外の環境の変化に対する諸臓器の調節機能の構造とはたらきについて学び、メカニズムと日常生活における役割について理解する。 ４．次の世代の個体を生み出して種を維持する「子どもを産み育む」身体機能として、生殖の構造とはたらきについて学び、メカニズムとその役割について理解する。						

授業の内容と方法

回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考
14	「恒常性維持の調節」の機能（内臓機能の調節） A　自律神経による調節 B　内分泌系による調節 C　全身の内分泌腺と内分泌細胞 D　ホルモン分泌の調節 E　ホルモンによる調節の実際 「衣類を整える」の機能（外部環境からの防御 ） A　皮膚の構造と機能 B　生体の防御機構 C　体温とその調節 「子どもを産み育む」（生殖・発生と老化） A　男性生殖器 B　女性生殖器 C　受精と胎児の発生 D　成長と老化 体表からみた人体の構造 身体機能と日常生活行動	講義	28		
1	まとめ・評価	講義・試験	2		

終了後課題	
評価計画方法	筆記試験・授業態度
テキスト参考図書	坂井　建雄他著：解剖生理学，医学書院 坂井　建雄他著：　解剖生理学ワークブック「系統看護学講座」準拠 佐藤達夫著：からだの地図帳，講談社
実務歴有	
講義への反映	
備　考	